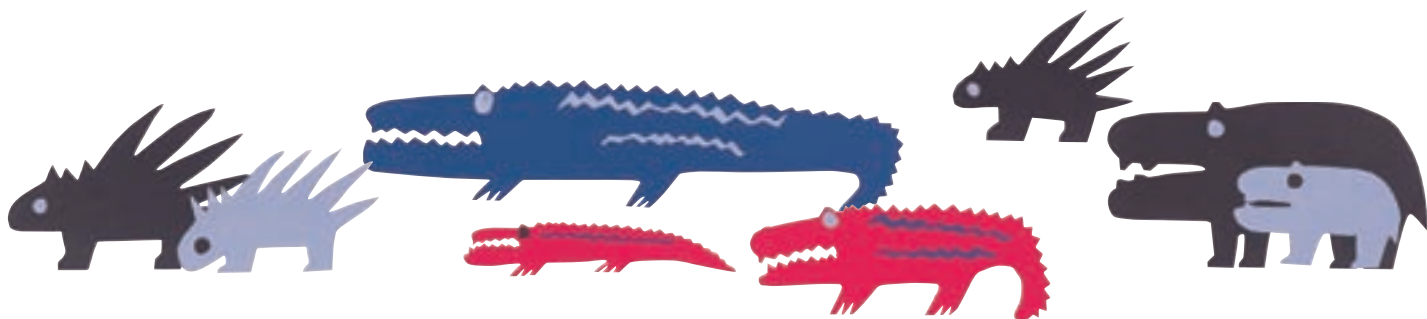


株主・投資家の皆様へ

●●● 第60期中間ビジネスレポート ●●●

2007.4.1>>>2007.9.30



 綜研化学株式会社



代表取締役社長
中島 幹

株主および投資家の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

さて、当社第60期中間期（平成19年4月1日から平成19年9月30日）における、我が国経済は、引き続き高止まる原油価格に伴う原材料価格高など不透明感を払拭しきれないながらも、中国を中心とするアジア経済の高成長を背景に、景気は概ね順調に推移いたしました。

このような事業環境の下、当社主力製品である粘着剤がFPD業界の旺盛な需要に支えられ販売高を増やすなど、当中間期における当社業績は期初の見通しを上回るものとなりました。

今期（第60期）は当社グループの中期経営計画「Soken Up the Value」の中間期にあたります。引き続き市場からの需要に質・量ともに応えるべくグループ丸となって取り組み、中期経営計画の達成に注力してまいり所存であります。

併せて、「CSR（企業の社会的責任）への取り組み強化」を継続し、CSRマネジメント体制の充実と、地球環境に対する化学品メーカーとしての使命を尽くしてまいります。

今後とも業績向上努力に止まらず、「社会の公器」であることを念頭に置いた企業価値向上に努め、株主・投資家の皆様のご期待に応えてまいりたいと存じます。皆様のより一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

トピックス



●狭山事業所リニューアル

☆微粉体一貫工場を新設

フラットパネル・ディスプレイ向け微粉体の増産のため、重合から粉体の乾燥や充填作業までを一貫して行える新工場を建設しました。これにより、微粉体の生産能力は従来の1.5倍に向上しました。

☆事務棟を改修

新研究棟の新設に伴い、これまで研究棟として利用してきた施設を事務棟に改修し、執務環境の改善や、会議スペース、展示スペースなどの充実を図りました。

☆その他

入出荷作業の効率化のため正門の拡張および改修工事を行った他、地域環境に配慮し、遮音効果の高い防音壁への改修を行いました。



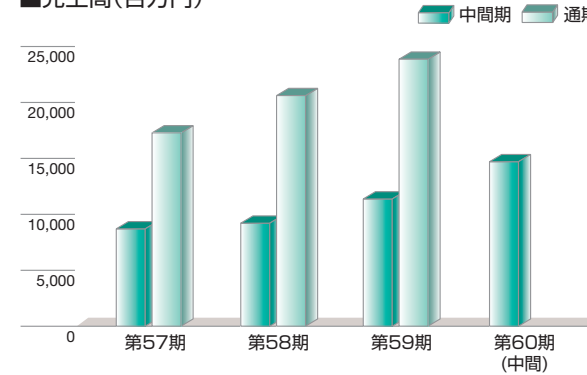
新微粉体工場



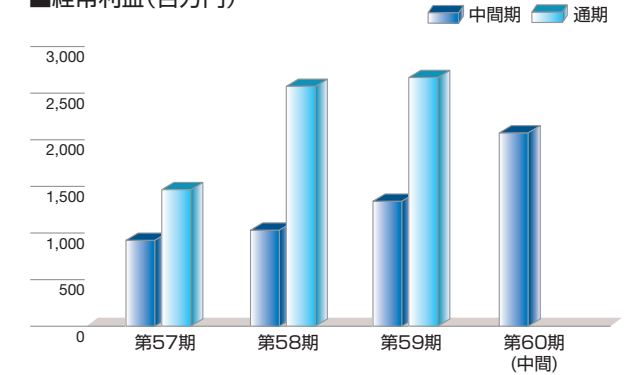
営業成績および財産の状況の推移（連結）

区 分	第57期		第58期		第59期		第60期
	中間期 <small>(平成16年4月1日～平成16年9月30日)</small>	通期 <small>(平成16年4月1日～平成17年3月31日)</small>	中間期 <small>(平成17年4月1日～平成17年9月30日)</small>	通期 <small>(平成17年4月1日～平成18年3月31日)</small>	中間期 <small>(平成18年4月1日～平成18年9月30日)</small>	通期 <small>(平成18年4月1日～平成19年3月31日)</small>	中間期 <small>(平成19年4月1日～平成19年9月30日)</small>
売上高 (百万円)	8,629	17,206	9,135	20,539	11,299	23,788	14,707
経常利益 (百万円)	922	1,465	1,031	2,573	1,341	2,664	2,072
当期(中間)純利益 (百万円)	542	864	668	1,647	891	1,591	1,348
1株当たり当期(中間)純利益 (円)	76.01	115.13	93.68	220.24	107.63	192.11	162.71
純資産 (百万円)	5,628	5,983	6,534	11,695	12,675	13,524	14,774
総資産 (百万円)	14,858	14,869	15,718	23,064	23,897	25,063	28,732

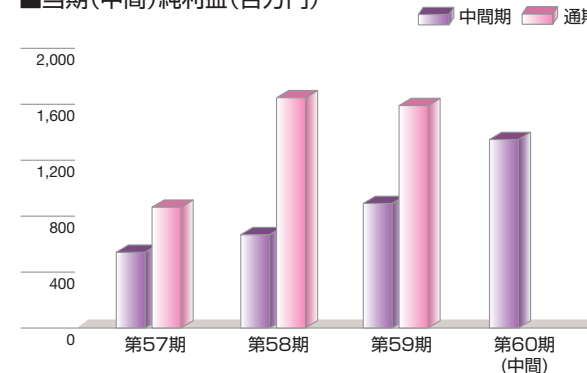
■売上高(百万円)



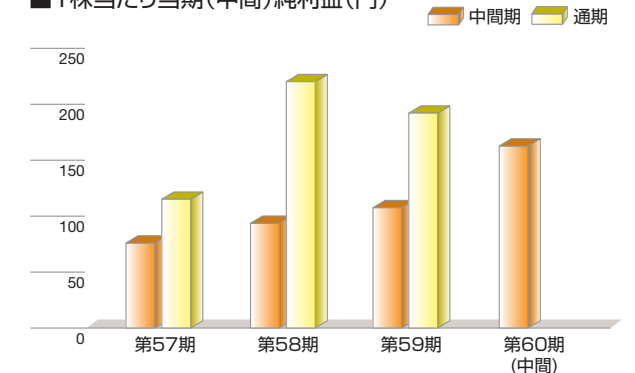
■経常利益(百万円)



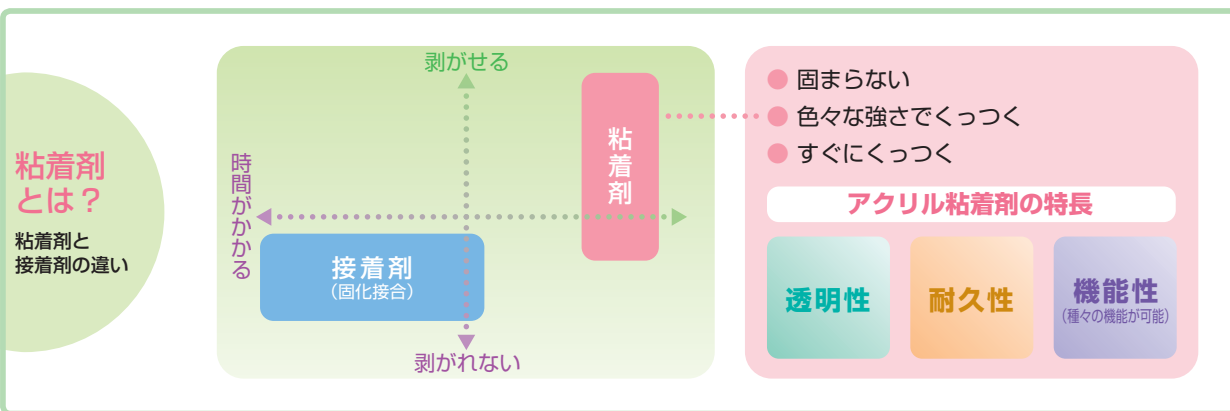
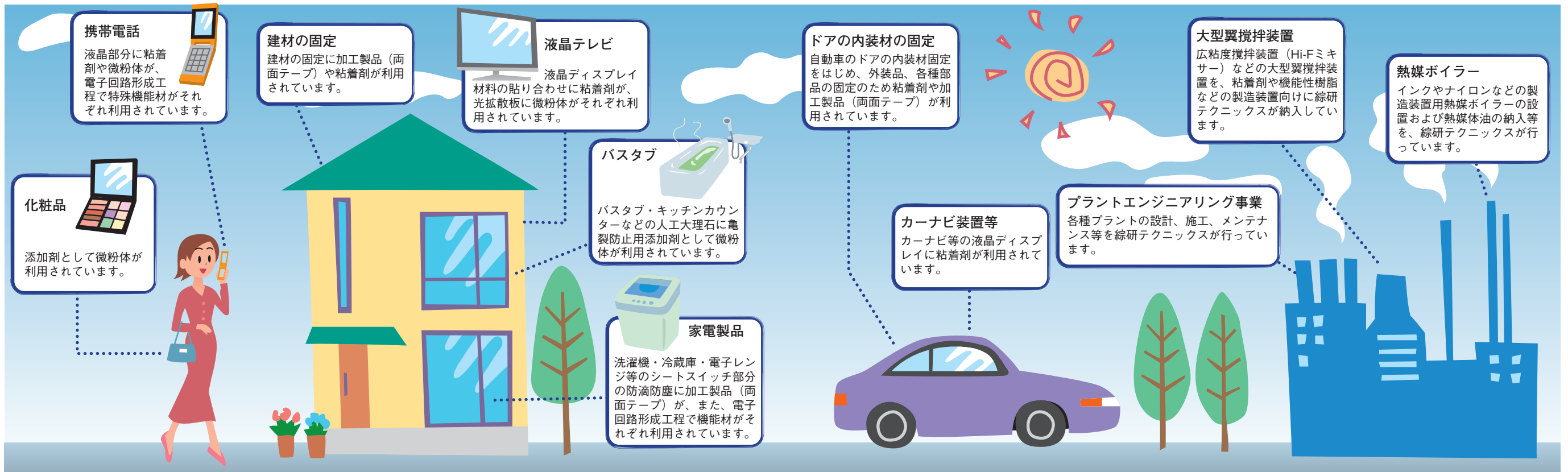
■当期(中間)純利益(百万円)



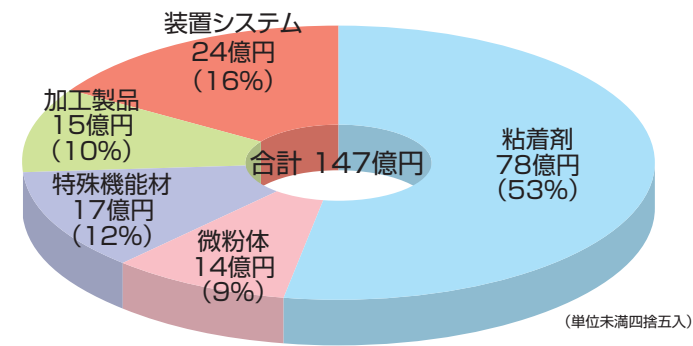
■1株当たり当期(中間)純利益(円)



綜研化学グループの製品は、幅広く暮らしの中で、役立っています。たとえば…。



■第60期中間期 商品ユニット別の売上高



■第60期通期見通し

第60期通期における売上高は、当中間期に引き続き、粘着剤を中心とした旺盛な製品需要を背景に、好調に推移するものと見込まれます。

また、利益に関しましては、更なる原材料価格の上昇懸念や、一部費用の上期からのずれ込み等が見込まれるため、当中間期に比べ下期の利益率は若干減少するものの、通期利益は見込みどおり確保できるものと考えております。

具体的には、通期連結業績見通しとして、売上高30,100百万円、営業利益3,500百万円、経常利益3,500百万円、当期純利益2,200百万円をそれぞれ見込んでおります。

中間財務諸表 (連結)



■中間(連結)貸借対照表 (要旨) (単位:千円)

科目	第60期中間期	第59期
	(平成19年9月30日現在)	(平成19年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	14,895,409	13,513,449
固定資産	13,837,518	11,549,920
有形固定資産	11,695,433	9,658,103
無形固定資産	597,618	515,559
投資その他の資産	1,544,465	1,376,257
資産合計	28,732,927	25,063,369
(負債の部)		
流動負債	12,578,578	10,100,761
固定負債	1,379,863	1,438,267
負債合計	13,958,441	11,539,029
(純資産の部)		
株主資本	13,812,251	12,688,103
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,402,813	3,402,813
利益剰余金	7,058,720	5,934,179
自己株式	△ 10,845	△ 10,453
評価・換算差額等	507,860	387,800
少数株主持分	454,374	448,436
純資産合計	14,774,486	13,524,340
負債純資産合計	28,732,927	25,063,369

■中間(連結)損益計算書 (要旨) (単位:千円)

科目	第60期中間期	第59期中間期
	(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)
売上高	14,707,751	11,299,079
営業費用	12,633,329	9,923,814
営業利益	2,074,421	1,375,264
経常利益	2,072,173	1,341,831
中間純利益	1,348,276	891,856

■中間(連結)キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位:千円)

科目	第60期中間期	第59期中間期
	(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,800,147	1,216,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,953,846	△ 2,219,505
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 452,127	△ 490,382
現金及び現金同等物に係る換算差額	12,521	△ 17,773
現金及び現金同等物の増減額	△ 593,304	△ 1,511,634
現金及び現金同等物の期首残高	3,422,838	5,477,116
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,829,533	3,965,482

■中間(連結)株主資本等変動計算書 (単位:千円)

当中間連結会計期間	株主資本				株主資本合計	評価・換算差額等				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式		その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成19年3月31日残高	3,361,563	3,402,813	5,934,179	△ 10,453	12,688,103	151,422	△ 518	236,896	387,800	448,436	13,524,340
中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当			△ 223,735		△ 223,735						△ 223,735
中間純利益			1,348,726		1,348,726						1,348,726
その他				△ 392	△ 392						△ 392
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)						△ 19,390	405	139,045	120,059	5,937	125,997
中間連結会計期間中の変動額合計			1,124,540	△ 392	1,124,148	△ 19,390	405	139,045	120,059	5,937	1,250,145
平成19年9月30日残高	3,361,563	3,402,813	7,058,720	△ 10,845	13,812,251	132,031	△ 113	375,942	507,860	454,374	14,774,486

中間財務諸表 (単体)



■中間(単体)貸借対照表 (要旨) (単位:千円)

科目	第60期中間期	第59期
	(平成19年9月30日現在)	(平成19年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	11,284,503	10,249,367
固定資産	13,109,964	10,913,640
有形固定資産	9,799,581	7,853,353
無形固定資産	198,933	123,483
投資その他の資産	3,111,450	2,936,804
資産合計	24,394,468	21,163,008
(負債の部)		
流動負債	10,953,142	8,283,041
固定負債	1,075,459	1,169,071
負債合計	12,028,601	9,452,113
(純資産の部)		
株主資本	12,233,701	11,559,846
資本金	3,361,563	3,361,563
資本剰余金	3,402,813	3,402,813
利益剰余金	5,480,170	4,805,923
自己株式	△ 10,845	△ 10,453
評価・換算差額等	132,164	151,048
純資産合計	12,365,866	11,710,895
負債純資産合計	24,394,468	21,163,008

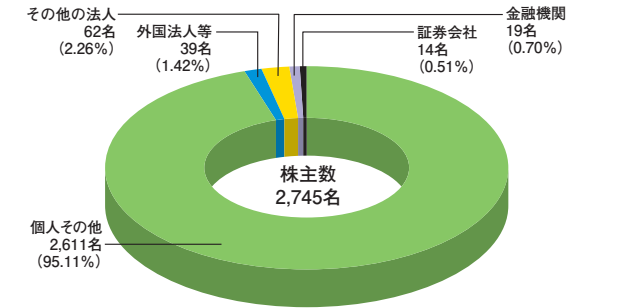
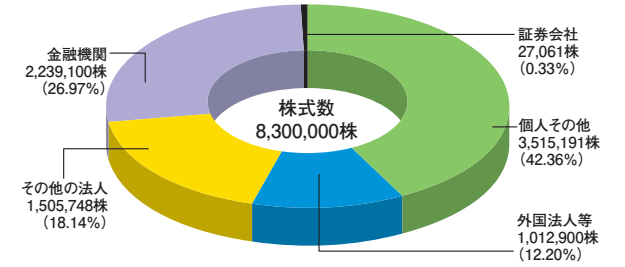
■中間(単体)損益計算書 (要旨) (単位:千円)

科目	第60期中間期	第59期中間期
	(平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	(平成18年4月1日から平成18年9月30日まで)
売上高	10,687,629	8,372,983
営業費用	9,453,464	7,713,357
営業利益	1,234,164	659,625
経常利益	1,345,854	731,707
中間純利益	897,982	493,230

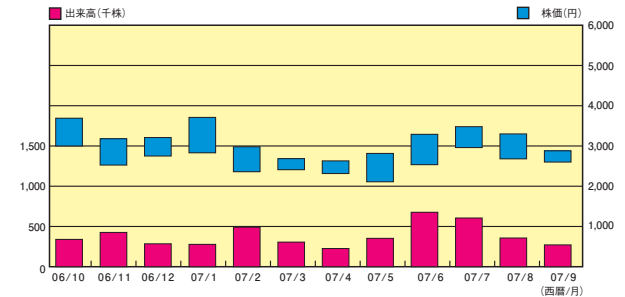
株式の状況



- 発行可能株式総数 33,200,000株
- 発行済株式の総数 8,300,000株
- 株主数 2,745名
- 所有者別株式分布状況



■株価 (高値・安値) および株式出来高の推移





■会社概要

社名 綜研化学株式会社

資本金 3,361,563千円

主要な事業内容

- ケミカルズ部門では、粘・接着剤、微粉体、特殊機能材、加工製品等の開発、製造、販売を行っております。
- 装置システム部門（綜研テクニクス株式会社）では、大型翼攪拌装置、自動制御システム、熱媒ボイラー等の商品販売および熱媒体油の製造、販売を行っております。

■役員（平成19年10月1日現在）

代表取締役社長	中 島 幹	島 幹
専務取締役	大 岡 實	岡 實
常務取締役（狭山事業所長）	川 瀬 進	瀬 進
常務取締役	日 向 芳 明	向 芳 明
取締役（VPM推進室長）	碓 井 章 徳	井 章 徳
取締役（新規事業開発室長）	齋 藤 浩 浩	藤 浩 浩
取締役（研究開発センター長）	池 田 裕 治	田 裕 治
取締役（営業統括室長）	波 谷 芳 雄	谷 芳 雄
取締役（人事総務部長）	阿 部 英 紀	部 英 紀
取締役（綜研テクニクス㈱代表取締役社長）	仲 谷 茂 樹	谷 茂 樹
常勤監査役	鈴 木 秀 明	木 秀 明
監査役	北 尾 哲 郎	尾 哲 郎
監査役	白 井 良 雄	井 良 雄

注）監査役北尾哲郎氏ならびに白井良雄氏は社外監査役であります。

■事業所

事業所名	所在地
本 社	東京都豊島区高田3-29-5
狭山事業所	埼玉県狭山市広瀬東1-13-1
浜岡事業所	静岡県御前崎市池新田8665-1

■主要な子会社等

- 綜研テクニクス株式会社 ●浜岡綜研株式会社
- 狭山綜研株式会社 ●Soken Chemical Singapore Pte. Ltd.
- 綜研化学（蘇州）有限公司 ●寧波綜研化学有限公司



決 算 日	3月31日
期末配当金支払基準日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
（電話照会先）	住所変更等用紙のご請求 0120-175-417 その他のご照会 0120-176-417
同 取 次 所	住友信託銀行株式会社 本店および全国各支店
単 元 株 式 数	100株
公 告 の 方 法	当社のホームページに掲載する。 URL: http://www.soken-ce.co.jp



本レポートの表紙図案および各ページに配した動物の切り絵は、障害者芸術ライブラリーであるアートビリティーに登録されている、アーティスト 岡村陸矢さんの作品（作品名「動物の親子」）を利用させていただきました。

※ アートビリティー

1986年に社会福祉法人東京コロニーが、障害者アーティストが自立し、自活することを支援するために設立したアートギャラリーで、作品の使用料がアーティストに還元されています。

※ アーティスト：岡村陸矢（おかむら たかや）さん

1989年生まれ。東京都在住。シャープな線が持ち味の切り絵作品は各方面で活用されています。



綜研化学株式会社

Soken Chemical & Engineering Co., Ltd.

本社 〒171-8531 東京都豊島区高田三丁目29番5号
TEL : 03-3983-3171 FAX : 03-3988-9216 URL : <http://www.soken-ce.co.jp>



●この印刷物は古紙配合率100%再生紙を使用しています。



●この印刷物は環境に配慮した植物性大豆油インキを使用しています。